パイブル」ノ植物

ヲ排斥 美化 リ淘 シ 冶セラレ ハスル 詩化セル心情ハ延イテ我邦ノ美ナル道徳ト密ニ相關聯 Æ タル我帝國ノ國民ヲ見ヨ此等ノ山河草木 , ハ 亦一面我國道德 破壞者 デア iv ŀ モ言 ガ 如何 w シ = テ居ルデ 我國民性 ゴヲ美化 ハナイカ是ニ由テ之ヲ觀レバ植物 シ詩化 シ居 iv <u>=</u> 未 ŀ 夫レ幾何 完 ノ學 此

## ルノ 植 物

デアル若シモ同君ノ記事ニ誤ガアッタナラバ幸ニ教チ垂 ッタ又ソレト同時ニ私ノ殘念ニ感ジタノハ今日コンナ進歩ノ世デアリナガラ何故ニ此樣ナ誤譯ヲ舊ノママニ放棄シ置イテ少シモ敗正チシ = } ナイコトデアル、又併セテ不審ニ思フノハ該殺チ奉ズル人々ノ中ニハ有數ノ碩學モ決シテ少ナクナイノニ何故ニ疾ク其邊ノコトニ氣ガ附 牧野富太郎日フ頃日私ハ或必要がアッタノデ聖書中ノ或ル植物チ調ベテ見タガ其支那ト日本トノ兩譯書ニハ其植物ニ誤譯ガ多イコトヲ知 カヌノデブロウカトイフコトデアル(間違ッタコトチ直スコト即チ過チヲ改ムルコトデアルカラキット神様ハ此攺譯ノ擧ヲ嘉納シタマフ - 並ニ久内清孝君ガ有益ナ繆考書ヲ貸シテ下サッタコトヲ此ニ感謝シ置キマス ・デアロウ) 私外信者デハナイケレドモ此等ノコトが氣ニナッテ仕方がナイノデ試ニ私ノ知人ノ篠崎君ニ勤メテ此ノ文ヲ草セシメタノ ルルコトニ舎ナラヌコトチ私カラ讀者ニ懇請シテ置キマス又私ノ友人ノ松田定久

キリストヲ信ズル省ノ寳典タルノミナラズ寳ニ一般人類ヲ敎化 ド既ニ世界五百六十餘種 7 國語 ス jν = = 飜 譯 足 サレ jν べ 殆 + 聖典 ŀ, 創。全

篠

崹

信

四

飢

ス博士ニ負フ所大ナルヲ忘ルベカラズ聖書會社以 ド新舊約六十六卷ノ全書ヲ完全ニ 雖ドモ「バイブル」ヲ昧ヒ得ル ノ事ナリ其功飜譯委員ニアル ^ハ容 翻譯 易 ナ . در ij 外二 論 3 我 €/ ナ 國 ゲ タ = 於テ v w ドモ イブ

世記乃至約翰默世界二互リテ弘

バイブル」ハ雷ニ

神

工

ス シャ

ナ

グ而

ッテ原書

ロハギリ 1

及ビヘ

ブ ル語 いき得

Ξ

叉橫濱

米國聖書會社

人々長 3

タリシ故ルウ

タルハ明治

二十年末

!ザル者ト テ誌サレアレ

ヲ

邦

語 於ル

鄱

セ

ŀ

話

タ ĵν

人士ナキ

= ァ シ

ラズサ

v

ブ

飜

**灬譯委員** 

舉

ゥ 3 ,

v

B

w 歐

諸

+ 1 L

ŀ

雖

モ \_

植

物

學 世

Į.

定

趸

ア 植 = ス **₹** 

ŋ

タ

jν

= 何

ア タ

ラ

ズ

୬

う

イイブ

w

所

載 而

植

物

脫

也 楯 w

ズシ

テ或ル少數

グノ識

者 \* 新

7

僅

=

米

學

」

做

Ŀ

衆

رر

泰 Ü

西

物

學

1

w 1 知

゚ヺ

知

ラ

ザ ハ

w

Æ N ŧ

1

ナ

ŋ

₹/

テ

其

物名稱ニ於テ其著

₹ ラ

÷

ア

w

゚ヺ

認

w

. -}-

ij

崩

治 舊版

+

车 ヲ ラ

前

於

ケ ٠\n

jν

我 易

國

植物

學

未

本

草

壆 IJ

餘

波

ヺ

支那

語 æ

ハイブ

'n

」ヲ参照

大

=

得 桑

w

所

ァ

ý

タ

由 國 飜

ナ Ħ

ŋ IJ

現

**≥** 

ッ

w

邦 部 程 IJ 當

語

1

ブ

jν

初

版

物 飜

此 委

較

'n

ァ

y

ź

リト

- 云フ而

シ

テ

那

= 的

於

۱ر

我

モ

早

クバ

Â

ブ

ル」全

j

飜 實

譯 = 及

**≥** 

夕

jν

゙ヺ 學

以テ

我 か 想 英

員

シ

テ僅カニ原書

バイブ

ノル」ヲ

創始

=

邦 テ

語

=

譯

₹/

タ 精 談

レバ

其苦心努力

1

رر

今日

者

像

₹

能 典

部分的ニ大訂正

ヲ

ナ

サ

 $\nu$ ₹/

アレ

F.

大體

於 jν

テ

۱ر

舊ニ

異 今出

ズ而 版

テ譯 ・ア

ガ

如何

ィ

ブ

jν

踏襲

. カ

Ś

我「バイ

ブ

jν

版

ŀ

支

郭 然

語 Æ

. ۱۷۰

1

ブ

ŀ

對

照

 $\nu$ 

容 語

<u>-</u>

jν =

事 支那語「

ラ

得

jν

ナ

殊 ヲ

吾

人

原

解 ラ

セ

'ズ又外!

國

Λ 於

側

委

育

در

我

邦 ,

語 苦

通

セ

ザ

jν

ヲ ヲ

U 聞

テ 7

ギ

**≥** 

4 飜

F.

 $\sim$ 員

ブ

w

語

語

譯

辭

ヲ

Æ

之

ν

ナ

3 ルレラ

Mi

37

聖書

會社

=

ケ

w

都派

譅

負

心

+

n

Æ

,

=

時

委

撰

バ

V

タ

w

我

國

(59) 涑 ズ 加 不備 布 我 ħ = ₹/ ŋ 調 改 外 幼 國 ラ テ 事 支 雅 人 ズ 杳 3 或 7 棄 補 本 4)\* 4-, \_ -會 要 產 ý 1) w フ 得 丽 .7 べ 物 = **≥**⁄ ス 爲 足 w 3/ ヤ 力 w 力 文字 ラ 名 植 ν IV 易 ナ メ 是 ゙゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙ヹ゚ 稱 物 孧 ギ ラ 非 樣 尙 叉 ヺ ヺ + ズ 我國 更 全 濫 ŋ 考 37 モ 豁 テ 用 植 ナ 1) = ŋ 我 Z 原 物 \* 孫 3/ = 名 學 事 苦 阈 引 稱 タ = 紹 心 jν \_ ヲ = ナ 時代 生育 等 他 就 介 於 ŋ シ 名 サ テ ス テ €/ 藉 キ モ v 1 jν モ v 稱 名 居 蒙 我國 歷 = ١, 7 w 我 史 モ 現 稱 ガ ラ ヲ 前 國 ザ 悟 舊 今 ヲ 如 = 產 乃 w ラ 辟 A 至 植 用 事 ズ 我 ス 物 國 言 シ 如 jν 阷 ス 植物 事 1語學上 テ我 キ妄斷 壆 稱 jν 就 丁實ヲ ガ 術 = + 7 便 如 ハ ァ 調 坴 X セ オ ハ原 董 吟味ヲ經 蒙 ケ 杳 = シ ブ 世 ス Æ メ ハ之ヲ ルニュ 亦甚 名ヲ假名 可 界 タ 的 7 w 避ケ テ植 支那 ダ IJ = = イ 進 過 進 物學 文字 得 語 3 步 ギ ŀ 一發達 謂 譔 w 居 ザ IV 的 = 植 ナ v フ 記 ハ<sup>10</sup> ノ觀 譯 = 物 y Ð 居レ 名稱 我 其 **≥** テ 國 本 於 7 アリ是レ イ バーバ 體 テ 3 F ブ 斷 踏 植 吾 丰 ヲ 価物ヲ能 確 筈 襲 ジ 1 誠 テ ナ ₹/ メ ブ 我 知 B 爲  $\nu$ w D 植 當 ラ ۱۷ jν 其 知 物 飜 時 べ ザ ラ カ w 植 譯

維

北

ス

w

=

從

雅

譯

Ŀ ヲ

,

餓 7

陷 事

ヲ 庨

谿

亰

w 果 事

多 テ

b

ァ 譯

w ァ

べ

キ

٧. 否

理

1

當

然 人 之ヲ

=

**≥**⁄

テ 阴

部

矛

的

訂

JE.

1

₹

=

テ

٠

ヲ

傳

多 Ŀ

+

н

聞

b

+

ŋ ス

3/

誤

n

ャ

r

٠.

吾

カ

=

セ

ズ

ŀ

١,

E

1

ブ 眞意

w

研

架

イブ 'n 植

行 谿 月 七 年 五. Æ ⋆ 核 單 命が諸さ二 らを〇備 核流地\*創業者 木 粨 云 必 無 ので置 湛 ラ ヺ 譯 Ŀ # 牛 杂 玾 ā 樹まキ Z. ୬ \* 12 世さニ 委 場 ス 務心記4供 不 Þ ズ ٦ テ Ā 盲 vy E w 合 所 同 出光— , 事. w ŀ 12 z = 2 セ ヲ 4 膟 ヲ Ė は 汝萱 逸 理 所きす 奥 , ァ 力 項 ン +×" 我和等意 若 果 早 のぶべ ブ 1] ŀ -}ŀ ř ヹ 食品 九 樹。 īfii 7 ij 兢 ŀ = 3/ ŀ 欲 をとい 與き 造 云 孙 物 Æ 人 ₹/ Æ ス \* = 往 テ 人 物 類 其 フ ዾ ッ 孜 限 讆 類 出たちば 4 ح Ė 7 譅 進 -3 ラ 食料 一備 7 ١,٣ 菰 1) 7 n 餡 1 ヲ 世 斯が神な j ズ 認 涿 諸は 利 1 ヲ Æ Ò b ħ v ŀ 言於 = 區 ので汝知常用 神なり 葽 怠 ኑ" 72 不 ヌ = 72 = 青紫等言。上 テ 供 Æ 別 b 白 ح מא \$ 7 -۱د きのた 其 根 頹 ス ŀ 然 3 シ n. 111571 w キ 譮 草。糧かま ŋ 命 得 \* 青紗 諸 由 w + 本 7 者 を興えるた とな 善草 IJ Z 試 令 謡 7 べ る + 的 叉 7 ス H 3 キ Σ は ヲ = = 猟 事. 讍 X る る く
は
ヲ
意 觀み其を地ち 誌 ۴. 大  $\nu$ w Ŧ は ij た類は 汝 語 改 ŀ ۱۷ ٠, **≥** 頭はし 視み舒 に青草 東 斯 U 譯 譯 女 w Æ ŀ ちば又ま 我 = シ 3/ 7 ^ テ ヲ 斯\*地步我和牛 味 b, 兹 糖 行 及 阚 無 テ 25 の全想 な 地 會た 譯 班 モ ス 71 꺠 フ 委員 靑 球 青寶加林 ズ 於 ナ b 諸さ地をナ ŀ 那 必 實 テ IJ 苴 VQ. のでの ŋ -草流がを 鄟 它 邊 文字 默!·面if創 蓏 バ ž 4 起 ٠, ŀ ŀ = ŀ 1 = 草'生 普 莡 人 叄 云 とのにて世 植 ァ w 元ずる 寧 蔬 國 天であ 記 考 jν 通 フ 物 類 べ 7 夕らる る 草 = ŀ = 類 力 シ T ゝ ŀ = 實施記 草、蔬さ み A 應 0 愚 ヲ 資 吾 米 w 云 ガ 4 副 支 諸は蓏れ者 遊さる 國 ヲ フ カ ŀ ゼ ୬ ٨ 意 稱 那 動 其な 併 是 聖 **シ** のでの ガ 别 Ϊ ジ V 雜 鳥な 其類 駯 メ 我 夕 物 テ ヲ 書 **≥**⁄ **≥**⁄ 現 テ 中 堂 タ る 見. ŋ 未 Þ 類なに 知 會 æ テ 僅 w ľ 諸さヲ ŀ 從と ダ jν 祉 ŀ 12 ラ ので加 後いひが 我 蔬 孕 ザ 'n = ٧٠ ハ び 信 ハ = 地\*草、ヘ な 草 菜 み 於 ね ア ズ " **%** Ħ v バ jν 生 ヲ ね = ~ ひ 森で菰 ケ 7.4 づ テ ŀ イブル」ヲ味フ兄 牛 果み Ż ŀ 굸 y 匍ょと ŀ ハ Ł" 只老婆心 Æ 示 v 副 核点人 自 を B 我國 フ ザ F, ス ズ = ዹ ý 核丸 v 諸さあ 所 别 3 巧 ŀ 由 Æ T 草です 實 y をも 7 ス = のでる ナ **≥**⁄ 當 赤さび ヲ 物。木、關 キ w æ **≥**⁄ v 7 イ 蓏 等に東京係凡をのフ ŀ デ 奇 テ 時 ナ = ŀ 7 0 ブ 過 異 此 み 所 IJ = ŀ Æ ハ 場合 植 結合 植 於 づ 果みギ 云 何 = のな 姉 ズ **≥**⁄ 生どる 頭 テ 樹き Ŀ 物 ヲ ልኦ 物

Ŧ

ジクかんらん科ニ属

ス

ıν

ボ

スウェリ

ァ

屬

(Boswellia) \

植

物

Ħ

IJ

滲

出

ス

iv

乳

液

樹

脂

テ

製

**≥** 

タ

jν

香

料

滲 デ 種

ン ŀ

號三第 卷 一第 誌 雜 究 研物植 植 樹≋○ 示 samodendron Myrrha) < ŋ 族 **F** 植 ŀ ŋ ŋ H 声を生ぜ ショ 物性 )同章 )同章 物分 ý , 亦謂 セ ナ = = ス 地を記 <u>\_</u> ラズサレ 7 シ n 4 揺 だ護謨ナ 1護謨 \_屬(Balsamodendron)植物ノ ァ テ 緪 + 1 ż ハー二其地の 穩 7. 九 法ヲ人 y タ m w ぶ x w カ 物アリ是レバルサモ ۳ر ナ ₹ リ而シテ又「バイブル」中諸所 ホ = へなか 八爲的 ・テ其類 香料トシテ「ブ ラ ゅ 頹 Æ 諸の灌 9 ズ ŀ の金は善し又ブルー かりけれ 灌 解 滇 î 木ヲきト フ. 术 樹幹 等 從 + n んばなり 者 は U Ė シ 未 7 就 3 ŀ Æ į, テ 讀 が地地 1 ŀ ŋ ァ ・ラク」ヲ デ 護謨 滲 ŋ į, 事 ナ 云 ۱ر トラクと碧玉彼らか、 ンド 後者 植 玆 ス リ是等ノ 出スル護謨 Z 物學 w = あらず n ナ 數 ハ飜 貴ピ U 至リテ w , 說 j. 語 ン、アフ = べ / 章句ニ 一没薬 歌譯者 野の 3 · シ シ = 後世 事 ŋ の諸の草蔬 樹 ŀ 3 バイ 脂 ルとテ 或 ラ 處 = 云 ŀ IJ  $\nu$ 就テ 想像 何 譯 フ而シテ黄金及ビ碧玉等ヲ貴ビ がか 臆 ノ「クリ ニあり、 3 力 ブル」ノ宗教 リ製 止 サ 說 . 力 ヌ 一地より 考 ハ植物學上ョリ種々ノ . んらん科(橄欖科、Burseraceae)植物 v ス ン ヲ L ルモ **V** , 與 Ì は未だ生ぜざりき其 タ スチャ (Balsamodendron africanum) + 「ブドラク」ニ ァ 3 タ w ~ で不合理 生や事ぜって y iv 得 モ 数的色彩 'n モ 1 jν ・ンしナ ì 故 事ア 植物 モ L ナラ ナル 質ニバル め ナリ又乳 又園の ŋ 兪 ル植物學 ~ 就 ズ現ニ香 ŀ 4 ケレ 濃 テ モ 中なった 香 サ 決 厚 は 説明ヲ下 ハ之ヲ寳石 者 ŀ, ŀ モ シ ŀ ヱ た生命の ァ テ ヲ 料 デ モ ナ ホ 稱 若 ,ν 的 樹 ۱۱۷ ₹/ ン  $\nu$ ス ŀ° ŋ 神紫 テ 人 木 シ jν ク 確 ハ薬品 得 種 類 樹a解 アテア 草 雨ぬ jν Æ U ナ スベ 植物 蔬 を iv w B 1 , ン ハ ナ 餘 不變ヲ 地 決 頹 ţ チ w 說 ゝ ・ テ喬木 に降電 地ア び善れ キ 前 屬 朋 11 ₹ 1 ŀ ୬ ŀ 樹幹 ラ下 テ 解 ヲ シ w 7 = w 信 悪。リ 異 テ 太 述 せたまは v ラ サ ス ŀ 古 を ŀ ~3 te\* モ v ₹⁄ = 3 者 得 知は 灌 **≥**⁄ (Bal-ブ デ Æ **≥**⁄ ス ŋ

しす

7

しみづか

べらた

à

\*

ર્જે

Ŏ

がある

樹き

ŀ

た

þ

を

內

に藏するみをむ

す

樹

ŀ

云

ァ事

=

シ

テ

Á

1

內

=

た

ね

7

w

事

ヲ

姑 メ

如

木

0

w

イブル」ノ植物

낏

はなあぶ

力 咲

ケテノ嚴寒

折二

へ見蟲

揃 梅が

是レ ノデ

ガ蟲媒花

タ 冠 ゚ヺ

花

顯

7

jν

花

有

シ

ク

ァ

ルカラ如何

バイブル」中ニ沒藥又ビ乳香等ガ貴重 ナ w 香料 シテ誌サ · w 身. w 後 說 捨

ŀ

ァ

=

モ

テ

難

キ

ヲ

知ル

= 完

足

jν

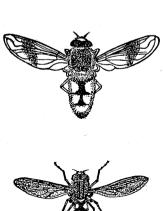
べ

ル昆蟲が梅ノ花ヲ媒助ス

カ

## 如何ナル昆蟲が梅ノ花ヲ媒助スルカ

ルヲ疑フ餘地 ながひらたあぶ ナル昆蟲ガ花粉媒助 ハー般ニ蟄伏シ 馥 郁 タ ごか無 ル清香 7 テ ヺ = 活動 ŀ 放 1 任 쯂 = チ 又蜜腺 ナ = 當ルデア ス人モ ナ w 梅 1 併 がヲ備 ". シ 花粉 アル併シ是 ガ普通デ 此 u 梅 ウカ 花ガ寒氣凛烈ニ テ花蜜ヲ分泌 鶯二 ァ ŀ 名和昆蟲研究所 v iv 3 カラ此 ッテ媒介 不精ナ人 寸疑問 ス 疑 シテ時ニ w 問 セ 此 長 ラル ガ ŧ ナ 1 机 如 w 野 應尤 シ上 jν ŋ 六花 ル・此等 ゙゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙ デア 菊 アロ -次第 構 ル冬ョ 1ノ繽紛 次 成 ゥ · ž デ 郞 女件ガ花 ۴ r リ 早 タ ヌ



昆蟲 結實

ガ セ 办

水ル

力來

ナ

1

力

ラ知

バラウ

ŀ

・思フ

ナラバ實際梅

花

咲

シムベ シ

キ程多數ニ存

ス 1

jν

モノデナイ

ソレ

3

y

Æ

梅

花

テ

Æ

其要ヲ得

テ居

ナ

實際

鶑

到

Ň

, 處ノ

梅

樹

ヲ

シ

テ 說

悉

デ

ァ

ル從

テ

春 時

臆

ï

タ

ニ之ヲ注

視

テ 旃

梅 モ

樹ヲ

前問

-)-

、ル今其重

空睛レ渡リ jν ス テ 種 テ格別風 jν 類 花 = コリ花 ヲ ŀ 奧 ガ デゲテ見 早 道 無 Apis mellifica 飛 + デ だ移 日 ァ バ先ヅ左 ニハみつばちゃ jν 早春 ī = ŀ ニテ氣候 實 通 著シ あぶノ 7 Z, 寒キ w 類 Ŧ 折 ガ